

# No.104

熊本県多良木町議会発行  
平成29年4月27日



## たたら守議会だより

# たたら

### 3月 定例会議

当初予算

P2~P3

8人が問う

P6~P12

楽しみな公民館の改修！

P14

多高生議会を傍聴

# 3点セット

## ・18歳までの医療費無料

詳しくはP4～5に掲載

### 63億3,300万円を可決

当初予算  
可決

### 歳出予算の主なもの

(千円切り捨て)

■ 企画観光課	
・地域おこし協力隊事業	2,165万円 (28年度は2名であったが29年度は5名採用予定)
・農林商工祭事業(農林商工祭関連事業)	1,284万円
・移住定住促進事業	112万円
■ 教育振興課	
・多目的総合グラウンド改修事業	3,780万円
・学校給食費補助	1,603万円
■ 子ども対策課	
・養育支援事業 養育支援専門スタッフの配置	785万円 (精神保健福祉士・心理士・言語聴覚士)
・出生祝い金(出生祝い金を増額)	685万円
■ 総務課	
・耐震性貯水槽設置工事(40㎡×3基)	1,800万円
・小型動力ポンプ購入(6台分)	827万円

3月定例会議は条例等13件・補正予算6件・当初予算8件・人事案件2件を審議採決した。  
一般質問・施政方針に対する質問は8人が登壇し吉瀬新町長の考えを質した。

### 特別会計予算

(千円切り捨て)

- 国民健康保険(事業勘定) ..... 15億4,100万円
- 国民健康保険(直診) ..... 825万円
- 久米財産区 ..... 982万円
- 下水道事業 ..... 3億853万円
- 介護保険 ..... 15億615万円
- 後期高齢者医療 ..... 1億4,115万円

# 出生祝い金増・給食費半額

## 平成29年度 当初予算 平成29年度

### 副町長選任同意



しまだ やす のぶ  
島田 保信氏

任期は4年で、元県立図書館副館長を選任同意した。

### 教育長任命同意



さとう くに ひさ  
佐藤 邦壽氏

任期は3年で、元学校教育指導員を任命同意した。

### 固定資産評価審査 委員会委員選任同意



さわむら ひで とみ  
澤村 秀富氏

任期は3年で、元税務課長を選任同意した。

#### ■ 農林課

- ・畜産事業関係補助 ..... 633万円  
畜産ヘルパー事業補助：73万円  
優良繁殖雌素牛導入促進事業補助：120万円  
優良繁殖雌素牛確保促進事業補助：280万円  
優良和牛導入促進事業補助：150万円  
運搬ヘルパー支援事業補助：10万円

#### ■ 町民福祉課

- ・えびすの湯に薪ストーブ設置 ..... 148万円
- ・障がい者等福祉手当 ..... 370万円

#### ■ 環境整備課

- ・町道・口の坪覚井線改良事業 ... 3,000万円
- ・町営住宅・給湯設備工事 ..... 2,300万円
- ・町道・百太郎土手線通学路安全対策事業  
(百太郎事務所から味岡リースまで)  
..... 2,100万円

#### ■ 健康・保険課

- ・子ども医療費助成 ..... 4,085万円  
(18歳以下の医療費無料化のみ)

### 上水道事業会計

- 収益的収入 ..... 1億7,494万円  
支出 ..... 1億7,313万円
- 資本的収入 ..... 2千円  
支出 ..... 1億2,139万円



### 子育て3点セット 63,736千円

新年度の方針は、「子育て世帯」に対する施策として今回「出生祝い金の増額」「給食費の半額助成」「18歳までの医療費無料化」を打ち出した。

### 黒肥地小プール・ 久米小校舎改修工事 16,226千円

耐震改修は終了しているものの、校舎の老朽化に伴いまだ教育環境の整備の必要な箇所を計画的に整備していく。



# 事業を決めました!!



### 旧白濱旅館の屋外整備・備品 11,000千円

改修工事の終了とともに屋外の改修と必要な備品の充実化を計ることとした。

### 中学生国内留学 2,500千円

中学生の「英語力」の強化のために大分県の立命館アジア太平洋大学に短期留学の計画をすることとした。





### 防犯カメラ 1,694千円

高齢者の徘徊が社会問題となるなかで、防犯という観点からの交差点や町境を中心に10基追加設置し合計33基となる。

### 槻木診療所エアコン 730千円

診療所自体の老朽化は進んでいるものの今回はエアコン2台の設置をすることとした。



# 平成29年度はこんな



### 給食センター アレルギー対策費 5,262千円

子どもたちの「アレルギー対策強化」として給食センターの調理器等の充実化を計ることとした。

### 住宅リフォーム補助 15,000千円

要望の多い事業で年度内に1回とし、複数回の補助が受けられるようにした。



坂口 幸法



**質問** 新聞の記事で「閉校後の高校施設利活用については、町議会

**Q** 高校利活用は半年で

**A** 結論が出ない可能性

や民間の協議会と情報交換し、県との折衝を重ねた中で、早急に結論を出したい」その期限は半年とした真意と根拠は。

**町長** 半年で結論を出すという気持ちで発言をした。しかし確信はない。結論がでない可能性もあり慎重にと考えている。

**Q** 地元高校採用枠は

**A** 公平・平等の観点から問題

**質問** 今回の地方公務員法改正により、同法に規定される採用試験の目的及び方法が改正され、自治体が自主的に決定できるようになった。そこでスポーツや勉学、地域活動に貢献し、人格に優れた将来性のある高校生を厳選する学校推薦のもと、職員採用特別枠を町長裁量権でできないか。



多高生の傍聴

**町長** 地元高校採用特別枠の設置は、住民が納得し客観的根拠・合理的な理由があれば可能と思われる。現段階では地方公務員法、憲法での公平・平等の観点から問題がないとは言えない。

**Q** 槻木小学校の今後は

**A** 教育委員会の意向で

**質問** 高校跡地利用については施政方針で述べてあるが、教育全般に対しての町長の考えが乏しいように思える。特に槻木小学校の今後のあり方やそれに伴う集落支援員の見直しの記述がないのはなぜか。

**町長** 槻木小学校については、新聞のインタビューで答えているが、今後は教育委員会の意向に任せたいと考えている。支援員に関しても、私の結論は出ているし、政策的にも疑問があり、今後は見直したい。



槻木小学校の入学式

**Q** 世界かんがい施設遺産は  
**A** 活用方法は住民の皆さんと

**質問** ブランド化をすすめる前提として、耕作放棄地の有効活用や鳥獣被害対策等も大事では。また、幸野溝・百太郎溝の「世界かんがい施設遺産」の登録

**久保農林課長** 農地維持、資源活用に取り組む多面的機能支払事業・中山間地域等直接支払い事業など農地の

の記述も入れている。では。  
**町長** 世界かんがい施設遺産は、重要な人吉球磨の財産で、これから活用方法は住民の皆さんと協議をしたい。

瀬崎 哲弘



### Q 高齢者の雇用と活用は

### A 知恵と経験を生かす取り組みを

**質問** 高齢化するなかで、年金所得者の循環的経済は重要だと述べられているが、これまでの経験、知恵、実績を十分に活用した雇用で収益を増やすことが循環では。

**町長** 本町の高齢化率は38%ほどになっていて、収入のうち年金所得が占める割合が給与所得の次になっていると聞いている。年金が医療介護分野に流入することによってその分野の雇用を下支えをす

る、若い人達の働く場所になっていく。町の経済は年金で回っている部分が非常に大きいというのを循環型経済と言った。本来なら、農業・商工業が栄えて所得が増えるのが望ましいことだろうが、

年金所得が町の経済の大きな部分を占めているのが現状である。シルバー人材の活用をとのことだが、確かに一般的に知恵や経験、忍耐力など若い人より高齢の方が評価されている面もある。そこは参考にさせていただきたい。

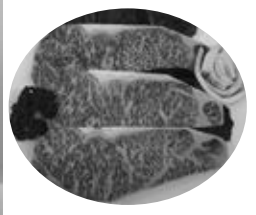
### Q ふるさと納税を増やす手だては

### A 返礼品・ネットの工夫を

**質問** ふるさと納税を生かすとされているが、近隣町村と比較して収納額が低い。まずは増やすことの工夫が大切ではないか。

**松本総務課長** 3月3日現在で本町のふるさと納税の申込は636件、1千85万になっている。確かに近隣の町村より少ないが、返礼品の種

類、ネットサイトへの掲載工夫など収納アップに努めていきたい。  
**町長** 他町村に負けなように、担当者を成果が上がっている市町村へ研修に行ってもらい力を入れていきたい。



返礼品に工夫を

### Q 「区」の統廃合は

### A 「住民合意」を尊重

**質問** 区の合併統合問題について、過疎が進む中、自治活動も衰退しているようだ。行政区の見直し再構築に町の踏み込みが弱いようだがその考えは。

**松本総務課長** 当時は48、現在47行政区である。これまでは自主的統廃合を進めてきたが、

統合にいたっていない。平成24年より区長会時に「行政区再編」の必要性を説明してきたが、住民の合意のもとに決定する必要があると思っている。

**町長** 行政区の統廃合には各区いろんな事情があり、町としては強制的に踏み込めない。

統廃合を進めるには住民の考えを聞く必要がある。統合の要請があれば町は支援していきたい。



問われる「区」の統廃合

魚住 憲一



質問

日本遺産認定を機に、町の活性化、所得の向上、観光客などによる交流人口の増加につながるのであれば、これをビジネスチャンスとして農泊の取り組みを考えるべきでは。農山村滞在型旅行を実施できる体制の整備をしていく考えは。

岡本企画観光課長

本町では現在4件の農家民宿が開業されている。地域おこし協力隊の1名が、グリーンツーリズムを推進していくというところに積極的に取り組んでいて、民泊の営業許可申請の手続きに関するガイドブック

Q 農家民泊の推進は

A プラン作りを進めたい

を作成して開業の手伝いをしていく。人吉球磨では広域連携の取り組みで、平成26年までの実績は24万人程の交流人口であるが、県内シェアで3.5%と伸び悩んでいる。しかし一方で、若者を含め都市住民の田舎暮らしへの関心は高まってきている。また外国人旅行者も、以前の消費型より少数での地方体験旅行型が増加している状況である。農泊推進を活用した地域型プランの作成、ICTを活用して動くしていく取り組みを人吉球磨で実施していくよう計画がなされている。本町でも今後、グリーンツーリズム研究会、設立予定の「観光協会」とも協議をしてプラン作成など仕組みづくりを進めていきたい。



期待される農家民泊

Q 県道人吉水上線工事は

A 積極的に進めたい

質問 県道人吉水上線道路改良工事について、県に対しての積極的な働きかけが必要と思うがその考えは。  
町長 地域の方の早期完成要望もあり、積極的に県との調整をしていきたい。



完成が待たれる県道33号線

Q 小学校部活動の社会体育への移行は

A 引き続き協議

質問

小学校部活動の社会体育への移行について、現況と今後の課題は。

信国教育振興課長

平成30年度末までに社会体育に移行することになっており、できなかった場合、事実上小

学校での部活動は廃止になる。本町では、町立小学校運動部活動社会体育移行検討委員会を設置し、保護者への啓発、アンケート調査をした。移行の認知度が60%、スポーツクラブの方へ加入を希望したいが50%であった。課題として、指導者の確保が非常に難しい。保護者への金銭面・送迎の負担があげられる。今後は、指導者の人材確保、保健体育に対する保護者への意識の啓発、それと社会教育などの放課後プログラムの開発、体制を考えていかなければならないということを引き続き協議をしていく。



久保田 武治



**Q** 誠実で公平な政治の意味

**A** 私利私欲、しがらみとは無縁

**質問** 誠実で公平な政治を公約されたが意味するところは何か。

**町長** 私利私欲、しがらみとは無縁の政治が原点だと考えている。

**質問** 説明責任を果たし、ガラス張りの町政を掲げられたが、実現するための施策や方法について伺いたい。

**町長** どの事業にも税金が使われることから公平性が問われるので、

町民に粘り強く説明し合意を形成していく。それと併せて情報の公開をさらに進めたい。

**質問** 町の重要な施策で町民間で賛否両論あるような問題では、町の広報や町民向けの説明会などを適宜開催したいとのことだが、多良木・黒肥地・久米の3ヶ所以外に槻木地区には行かないのか。

**町長** 槻木地区についても方法は違うが、今後ずっと支えていく立場なので説明会には出て行くべきと思う。

**質問** 町長が行政区の隅々まで足を運び、町づくりの理念や思いを

語り、住民の声を聴く懇談会を開く考えはないのか。

**町長** 方法を含めて前向きに検討したい。

**Q** 給食費助成は地域経済にも効果的と思うが

**A** ご指摘のとおりだと思う

**質問** 今回町長が提案された学校給食費の半額助成が議決されたが、

全国でも支援する自治体が4割近くに広がっている。この背景には、社会全体で子育てを支援して少子化や貧困対策、若者の定住促進につなげたいとの思いが

ある。しかも給食費の助成分は、ほとんどが

子どもの学用品や衣料品、日々の家計消費に回り、地域経済にも効果をもたらすと思うがどうお考えか。

**町長** 議員指摘のとおりだと思う。子育てについては、家計が厳し

**Q** 4年間の企業誘致目標は

**A** 1件以上は誘致したい

**質問** マニフェストに、企業誘致による働く場所の確保を挙げておられるが、どのような活動から始められるのか。

**町長** あらゆるつてや情報を積極的に活かして誘致したい。

**質問** 町長在任中の4年間で、いくつの事業所と何人くらいの雇用を目標とされるのか。

**町長** 4年で1件は誘致したい。

い家庭を支援する政策を出していきたい。

**質問** 施政方針で、郡市町村を精査して郡内トップクラスの子育て支援策を作り上げたいと述べられたが。

**町長** 情報を集めて研究したい。



豊 永 好 人



**Q** えびすの湯事業は

**A** 当分の間は直営

**質問** 平成28年度ふれあい交流センターえびすの湯の収支状況並びに平成29年度運営のあり方は。

**町長** 平成28年度は約2千700万円の赤字で、

今後の運営の方法として現在は直営であるが、将来的には指定管理者も考えられるが、当分の間は直営でいきたい。  
**今井町民福祉課長**  
平成28年度4月から平成29年度2月までは、

入館者	のべ8万8,157人
収入	2,182万3,650円
支出	4,978万5,900円
赤字額	2,796万2,250円

となっている。



経営改善を

**Q** 免許返納支援は  
**A** 大いに支援を検討

**質問** 高齢者が運転免許を返納された場合、代替の交通手段が必要と考えるが町独自の支援はできないか。

**岡本企画観光課長**  
地域公共交通再編実施

計画を29年度に策定するように取り組みをし、幹線となるバスの再編各市町村の公共交通の見直しをしている。本町の乗り合いタクシーについても、免許証の

**Q** 町独自の機械補助は

**A** 一般農家へ補助検討

**質問** 農業振興について農業機械や農機具、ハウスなどの導入の負担を低減するために町独自の補助金で実施できないか。

**町長** 現在国、県では農業の競争の強化のための新規就農者など多様な担い手の確保と育成・営農組織の再編・法人組織の育成支援・果樹産地の競争力強化返納制度に対する支援を視野にいれて、関係者と協議をしながら見直したい。

など農業振興に取り組んでいるところである。一般農家の補助も必要だと思っているので、担当課と協議したい。



農機具の補助は



免許返納支援を

山中 馨



Q 給料カットは

A そのままで

質問 町長は選挙中は

東京の小池都知事のまねをされて緑のジャンパーを着用し、当選後は町民ファーストを連発されているが、都知事の給料半額カットはまねされていない。町長は今回公約の給食費半額助成に2千万円使われる。この2千万円は財源の裏付けの無い

金で、全額町民の負担になる。町長も都知事にならない子ども達の親になったつもりで、自分の給料をカットされてこの給食費半額助成のための財源に当てられるつもりは。

町長 確かに小池知事は半額にされた。小池知事の場合は清水の舞台ではなく岩の上から飛び降りる覚悟で都民ファーストの政治を進めておられるが、私は町長になって初めて分かったのだが、町長と

いうのは結構お金がか



給食費助成の財源確保は

かるもので、そのお金で人との交流や人脈を作るために74万9千円のお金を持たせていただいている。私はありがたいと思い、そのままありがたくいただきたい。

Q 高校跡地活用は

A 鋭意努力したい

質問 高校跡地活用

について「半年で決める」と明言されているが、どの程度のことを想定されておられるのか。

町長 私には分からないが、鋭意努力はしたいと思う。



どうする 跡地利用

Q 「廃校」は「再開校」が要因なのか

A 可能性は否定できない

質問 高校が「廃校」

になったのは槻木小の「再開校」が要因と言われているが、町長になられた今もそう思われておられるか。

町長 高校の利活用のこと対策室で話した時に、根拠はないがその状況がないとは言えないという話になった。根拠はないが普通に考えた時に、平成26

高橋 裕子



**Q** 施政方針の具現化は

**A** 検討し、課題としたい

いるので、今後検討課題としたい。

**質問**

『日本遺産を「核」とした町の歴史を特産品などと合わせて外部に発信し、街の産業といかに有機的に結び付けていくのか、その方法論を明確に提示できるのか、町としての総合力が問われているという現状認識を持っている』とある。この内容を具現化するための方法論としての施策的改革は。

**町長** しばらく仕事の実態を見ていく中で、必要な時が来れば政策的改革に踏み込まなければならぬかもしれない。問題が山積して

中村 正徳



**Q** 重要施策と直ちに取り組むべき課題は

**A** 「多良木ブランド」の確立と働く場所の確保

**質問** 施政方針の中で

何を重要施策と位置付け、早急に取り組むべき喫緊の課題として何をお考えか。

**町長** 優先順位として、

「多良木ブランド」の確立と働く場所の確保を考えている。そのことを通じて町の経済活性化を図りたい。

**質問** 4年間でやり残

しの施策がないよう、具現化とスピード感が求められると思うがどう取り組むのか。

**町長** 山積している課

題も含め、各委員会や庁舎内に作る委員会でもスピード感を持って取り組みたい。

**質問** 追う立場から追

われる立場、批判する

立場から批判される立場に代わり、施策完遂には強いリーダーシップと「町が変わった」と言われるためには、

協働による政治が必要と思うが、どのような見解をお持ちか。

**町長** 協働はまちづく

りに不可欠な概念であり、行政と住民がお互いに協力し合って推進していくことだと思っ。その前提として行政側が説明責任をしっかりと果たすことが必要と考えている。



「多良木ブランド」化をめざして

# 議 会 報 告

●平成 28 年度 第 6 回議会 2 月会議・・・平成 29 年 2 月 14 日

補欠選挙にともない・・・

・坂口幸法議員を、厚生環境文教常任委員会委員・公立多良木病院企業団議会議員に選出し、村山昇議員を総務産業常任委員会に選出した。

## 全員協議会での主な説明は

- ※「観光協会」を国の「地域活性化としての観光振興」を受け「魅力あるまちづくり」を目的に設立するとともに、旅行業取得をめざして一般社団法人化をしたい。
- ※「旧白濱旅館」の改修事業が進む中、「屋外整備」を、五間道路境の確認と建物の旧配置を示し、新しく造るのではなく元の形を残した内容で計画したい。
- ※「風力発電事業（仮称）計画」については、計画されていた事業者より事業費増大や期間などの課題の解決が困難であり採算が合わないと判断され、白紙に戻されることになった。
- ※「休校中の宮ヶ野小学校校舎の一部」をサラダドレッシングの製造・加工を行う施設とし、雇用の場とすることで地域活性化を図る目的で「㈱グラツェミーレ」に平成 32 年 3 月まで「無償貸し付け」したいということに対し、販売権を持つ「しごと創生機構」との契約内容の問題点を指摘した。
- ※「生ごみの分別収集」は指定行政区で行っているが、一部を除き継続し、生ごみ処理の方法を検討したい。
- ※ 国の、農地利用最適化交付金の趣旨は「農業委員会の積極的な活動を推進するため、農地集積・遊休農地解消等の活動・成果による手当を、従来の報酬に上乗せで支払う新しい予算であり、農業委員と推進委員の報酬等の財源」であり、条例の一部を改正し、平成 28 年 4 月 1 日からの適用としたい。

●平成 28 年度 第 7 回議会 3 月定例会議・・・平成 29 年月 3 月 7 日～ 16 日

## 当初予算 賛成？ 反対？

### 賛成討論

久保田武治議員

この予算には、川辺川ダム建設促進協議会への負担金や旧白濱旅館事業に 1,100 万円の予算など問題もあるが、これまで要望してきた学校給食費の半額助成と 18 歳までの医療費無料化に加え、出生祝い金の増額など子育て支援に積極的な予算が計上されており、大局的に評価できる。

### 反対討論

坂口幸法議員

給食費の助成より、子ども達の学力向上・スポーツ・教育環境整備など、直接に子どもに関わる教育予算を充実させるべきである。また少子高齢化、過疎化にともない税収減など財源が厳しい状況の中で、毎年 2,000 万円以上の予算計上は近い将来、財政の硬直化を招く恐れがある。

賛成○（8） 反対●（3）

林田	中村	瀬崎	山中	坂口	魚住	高橋	源嶋	久保田	宇佐	豊永
○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●

●平成 28 年度 第 8 回議会 3 月会議・・・平成 29 年 3 月 30 日

平成 28 年度一般会計補正予算に、1,258 万円を追加し、予算の総額は 64 億 7,901 万円となった。  
(千円切り捨て)

選任同意の固定資産評価審査委員会委員・副町長の選任は全会一致で可決した。

# 楽しみな公民館の改修！

地方創生拠点整備交付金の28年度第二次補正予算に申請し認定され、繰越明許費として29年度で取り組むこととなった。

この事業の目的は、「未来への投資に向けて、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取り組みを推進するための交付金」で、地方における安定した雇用創出・新しいひとの流れ・まちの活性化など地方創生の深化が期待される。

## 久米公民館は

事業費 7,475 万円で町の一般財源より 275 万円の支出



農林資源の活動拠点として期待される久米公民館

### 《事業の目的と内容》

三極（みつまた）を活用した和紙の製品化を行う工房・農産物加工や郷土料理作りが可能な厨房の整備と、会議室等（課題解決や打ち合わせのスペース）・多目的空間（ローカルビジネスの人材育成講座に活用するためのスペース）・創造空間等（他者との情報等の共有により、新たな創造へつなげるためのスペース）・多機能トイレを組み込み、農山林資源の活用によるビジネス等の創出を図る活動拠点としていくということである。

## 黒肥地公民館は

事業費 4,060 万円で町の一般財源より 215 万円の支出



ピザ作り体験プログラムが始まる黒肥地公民館

### 《事業の目的と内容》

この歴史遺産や伝統文化が多数残されている地域に、施設の利便性や機能性の向上を図り（ピザ製作体験・「まちあるき事業」の拠点としての空間整備及びトイレ・倉庫の整備）、歴史文化を主体とした「体験型」の観光（ヘリテージツーリズム）の拠点として位置づけ、観光拠点施設として整備することで観光客を呼び込み、稼ぐ仕組みを構築することで収入の確保に繋げることを目的とする。

さらに、地方創生加速化交付金の取り組みと連携し、農産物のブランド化や新生産を活かすためのピザ窯を作り、体験プログラムの構築を図るということである。

文責 高橋 裕子

・ ・ ・ 議員研修報告 ・ ・ ・

文責 高橋 裕子

上球磨町村議会議員研修会 in あさぎり町「ポッポ一館」

「地方創生・まちづくり・ひとづくり」 ～地域の宝探しとブランド化～

合同会社フォーティR&C代表 経営コンサルタント 水津 陽子 氏

観光を「核」とする地域づくりへの、適切なアドバイスと地域への提案を組み込んであり、新しい角度からの視点が開け、「ひと」が動く仕組みが理解できた。

地域資源とニーズ・トレンド・観光交流・移住等これをどう結び付けていくか。企画の第一歩は自分のやりたいことを明確にすることであり、こういうことを実現したいという、明確なミッション(使命)やビジョン(構想)が事業の「大黒柱」となり、それが事業のコンセプト(概念)やビジネスモデル(事業で収益を上げるための仕組み)に反映され、またブランド力につながっていく。大切なことは「誰に、何を提供するか」(コンセプト)を明確にすること。

観光エリアは「人吉球磨」か？ 司馬遼太郎は人吉球磨を「日本でもっとも豊かな隠れ里」と評している。観光の組織もいろいろある(5団体)が一本化し、日本版DMO(地域観光の開発企業体)を立ち上げ、旅行業としての仕事をするべき。広域連携による成功例としての「北海道ガーデン街道」は地域ブランドを確立している。

成功のカギは、情報の収集(口コミメディア・統計・評価等)をしっかりとする事・踏み込んだアクセルは踏み続けること(次へ次へ新しいものを打ち出す)・仕掛けるタイミングにある。

つまり、人吉球磨も窓口を一本化して、経営感覚をしっかりと持った組織運営に取り組みなければ「宝の持ち腐れ」に終わってしまうということだと思ふ。

球磨郡町村議会議員研修 in あさぎり町「せきれい館」

これからの町村議会

新潟県立大学 国際地域学 准教授 田口 一博 氏

議会・議員は何のために活動するのか！地方創生(そうせい候→毛利敬親のあだ名・何でも『そうせい』が口癖だった安倍総理の先祖)に取り組む中、自治憲章(自分たちのことは自分たちで決めて行く)・地方自治(わが町はこういう町であるという独自の方向があってよい)の推進に於いて、中央の人間は地方が見えないので「そうせい！」と言ってもらえなければ議会が交渉に行くべき。

議会は議決機関のみでなく、話し合いによって多くの考え方の中から意見を一つにまとめていく議事機関である。住民や専門家と、目的・対象・内容を明確にした「語る会」を行い、地域を語り、学ぶ場としての議会であり、意見書としてまとめたの提案をし、その会議録を教材として図書室に置くことによる政治の見える化を図る。選挙で選ばれた政治家の活動が大事であり、政策によって住民の暮らしがどうなるのかということである。選挙→政治家→政治→政策→生活という連関の理解をし、住民の代表者「政治家」として、「多くの考え方の中からこうした理由でこの政策を選ぶのだ」と、政治の意味を若者をはじめ、地域に示していくことが役割なのではないかと思つた。





多良木駅横にある「花公園」の芝桜

豆 ち し き

町の山積の問題とは



多良男

いろいろ多良木にも問題の山積しとるって言うバツェン、どぎゃん問題があつとナ

そら、前に聞いたバツェン、こいから子どもが少のうなあって、そいで新町長は「出生祝い金の増額」「給食費の半額助成」そいから「18歳までの医療無料化」ばしやつたとじゃろ、ほかにやー

色々あるごたるナー、こいからの「県との交渉」たいな

そいから「生涯学習センター」の問題たいな、こいも「中央公民館」やら「図書館」てるの「町民集会場」との絡みやら「旧白濱旅館」の使い方やら「どぎゃん規模で何処に作る」とか色々こいから「頭ばひねりながら論議しやつとパイ

ほんと色々あるナー

いっぺんにトントンとにやー、決まらんどバツェンいっちょよ、いっちょ片付けていかんばんよ

本当よナ、こいから子どもやら孫たちんためどぎゃんすれば一番よかか、皆で頭ばひねって考えんばんよ

そうたい、おいどんもチャント考ゆっパイ



球磨雄

編集後記

開花は遅れたけれど、春の、短くも本当に美しい桜舞い散る中、議会だよりの原稿を作成した。

2月のあの厳しい町長選挙、そして3月会議へと続き、あつという間に4月を迎えている。新町長の誕生により、町も若葉色に感じるのは私だけではないと思う。だが現状は大変厳しく、全国が地方創生という大きな波にもまれながらも、なんとか乗り切ろうと頑張っている。選んだ船は大丈夫かな？ 行き先は間違っていないかな？ 先の見えない不安がつきまとう。

それだけではなく、町は大きな課題をいくつも抱えている。地方創生の課題である人口の減少による地域力の低下を最小限に留めるためには、これまでの経験だけでは乗り越えられない現実も見えてくる。町の賑わいを取り戻すという心情的な部分も理解できるが、人口減を認識した公共施設の合理化と経営を認識した行革は避けては通れないように思う。議員として議決までの協議・研修等の重要性はもちろんであるが、方向を見極めるには個々の学習が必須というレベルまで多様化している。

そういう中、議会では各常任委員会単位だけではなく、共通理解をしながら協議が出来るよう、議会活性化特別委員会等に於いて全体での研修に取り組んでいる。この3月会議の人事に於いて、全議員賛成で可決したことは大変意味のあることだと思ふ。町にとってどうあるべきかという考えが一致した結果と捉えた。この流れで、執行部と議会が両輪となり施策に関わっていくことで、町に本当の春がやってくる、私は信じている。

文責 高橋 裕子

広報特別委員会構成

- ◎ 山中 馨
- ◎ 高橋 裕子
- ◎ 久保田 武治
- 林田 俊策
- 宇佐 信行
- 豊永 好人